

## 東海村農業振興計画について

### 1 計画策定の目的

#### 《現状と課題》

- ・本村は農業振興を村政の4本柱の一つに掲げているが、農業に特化した中長期的な視点に立つ振興計画が策定されておらず、系統的な施策が講じられていない面もあった。
- ・東海村第5次総合計画（平成23年度から10年間）の後期計画が28年度からスタートする予定であるが、後期計画における農業分野の部門別計画を樹立することが課題となっている。
- ・これまで実施してきた多彩な事業に関して、効果測定等を判断する明確な基準が設定されておらず、スクラップ＆ビルドが十分に機能していない。

#### 《期待される効果》

- ・農業振興に関する政策の展望を示すことで、行政、農業者及び関係者がそれぞれの立場から主体的な取組が展開できる。
- ・振興計画に具体的に施策を掲げることで、計画的な予算化が図られる。
- ・農業経営モデル等を示し、新規参入者に対して今後の具体的な農業経営指標を示すことができる。

### 2 他の農業関係計画との整合性

- ・東海村農業振興地域整備計画（根拠；農業振興地域整備法）  
⇒農地法の規制よりも厳しい農地転用の制約が課せられる地域（農振農用地）を指定し、本村農業の健全な発展を図る。
- ・東海村農業経営基盤強化の促進に関する基本構想（根拠；農業経営基盤強化促進法）  
⇒本村の農業振興に係る基本的な考え方を示している。認定農業者等の中心的な農業担い手の営農に関する将来構想が描かれているが、全ての農家を対象とした構想にはなっていない。

### 3 農業振興計画の概要（案）

#### ◆策定の趣旨

- ・計画の位置付け（第5次総合計画や他の農業関係法令との関連）
- ・計画の期間（平成28年～37年の10年間）

#### ◆現状と課題

- ・東海村の概要（立地、歴史、気候風土）
- ・農業の現状（農業センサス）
- ・主要な課題（高齢化、担い手不足、耕作放棄地、販売方法）

◆本村が目指す将来像

◆施策の方向性

- ・農業経営の安定化と担い手の育成・確保
- ・農地の保全と農地の持つ多面的機能の活用
- ・安全な農産物の生産・消費による地産地消の推進
- ・農業に対する理解の促進と交流の活性化

◆個別的重点施策

- ・新たな担い手の育成・確保
- ・耕作放棄地（遊休農地）の解消
- ・農地の利用集積の促進（農地中間管理機構との連携）
- ・認定農業者の育成
- ・農業経営の合理化の促進
- ・地産地消の推進
- ・環境にやさしい農業の推進
- ・農業用施設の長寿命化や管理の在り方
- ・特産・振興農産物の普及・拡大
- ・体験型農業の拡充
- ・食農教育の推進
- ・鳥獣被害防除対策

◆計画の推進に向けて

- ・農業振興計画推進委員会の設置

【資料編】

◆策定経過等

- ・経過（座談会開催，検討委員会開催，パブコメ）
- ・東海村農業振興計画策定委員会設置要綱
- ・策定委員会名簿
- ・策定委員による提言

◆営農モデル

- ・部門別農業経営モデル（水田：稲（単作），稲＋麦，稲＋大豆，稲＋加工甘藷など）  
（畑：甘藷，加工用甘藷，露地野菜，施設栽培など）

◆土地利用計画等

- ・村内の営農実態マップ
- ・農振農用地の地図
- ・都市計画図（市街化区域と調整区域）

◆農業に対する意識

- ・農家に対するアンケート調査結果の分析と評価
- ・一般消費者に対するアンケート調査結果の分析と評価